

歴史学の再生

10/11[±]

『蒙古襲来絵詞』は 何故作られたのか

松園 斉 ● 本学・歴史学科教授

① 13:00-14:30

今日、絵巻物として知られるこの作品は、もともと絵巻物であったのかどうか明らかではありません。実は、何を目的に作成されたのかも不明な点が多いのです。ここでは、従来見落とされていた側面からその制作背景をさぐってみることにしましょう。



Hitoshi Matsuzono

中華の創造

松下 憲一 ● 本学・歴史学科教授

② 15:00-16:30

中華文明はどのようにつくられてきたのか。中華文明を代表する漢字・儒教・仏教は四千年前からあったわけではありません。中華文明は、四千年の歴史のなかで、中華に暮らす人々と中華の外からやってきた人々の共同作業によって創造されたものであることを具体例をもとに解き明かしていきます。



Ken-ichi Matsushita

10/18[±]

後期旧石器文化のはじまりを探る

長井 謙治 ● 本学・歴史学科准教授

③ 13:00-14:30

未曾有の旧石器時代遺跡捏造事件を経て25年、日本の旧石器考古学は何を学び、どう再生してきたのか。東アジアにおける最新発掘調査成果を踏まえ、日本列島における後期旧石器文化の始原について考えます。更新世の気候や地理を復元して、日本に最初に到達したホモ・サピエンスの移住ルートについて考えます。



Kenji Nagai

継体大王の時代を考える

加藤 一郎 ● 本学・歴史学科教授

④ 15:00-16:30

継体大王の時代の尾張地域は、東海地方最大の前方後円墳である断夫山古墳が築造されるなど、非常に重要な地域であったといえます。このような状況を理解するための手がかりとして、鏡や埴輪などに関する考古学的な検討をもとにお話ししたいと思います。



Ichiro Kato

日時

2025年10月11日[±]・10月18日[±]

①③ 13:00-14:30 ②④ 15:00-16:30 (開場12:30)

会場

愛知学院大学日進キャンパス
けやきテラス3階

交通アクセス

〒470-0195 愛知県日進市岩崎町阿良池12 <https://www.agu.ac.jp/access/nissin/>



AICHI GAKUIN
UNIVERSITY



対象:どなたでも参加できます(中高生歓迎) **入場無料** 事前申込不要

お問い合わせ先 ● 愛知学院大学文学部歴史学科 ☎ 0561-73-1111(代) E-mail: rekisi@dpc.agu.ac.jp
歴史学科HP <http://www.flet.agu.ac.jp/information/history/news/>
愛知学院大学HP <http://www.agu.ac.jp/>

愛知学院大学
文学部 歴史学科
Instagram



AGUREKISHI